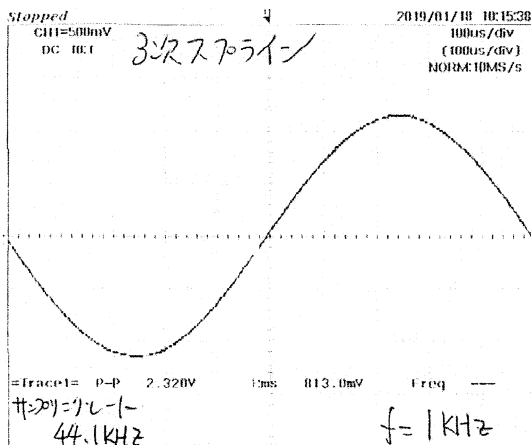


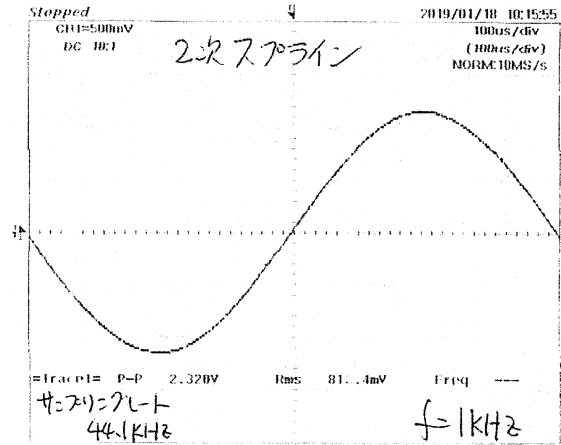
# SSDAC 補間特性と波形の関係

$f=1\text{KHz}$

3次スプラインと2次スプラインは同一

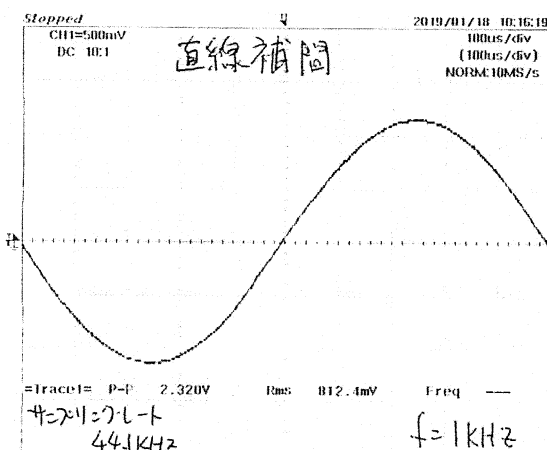


$D=0.145\%$   
 $0.0145\%$

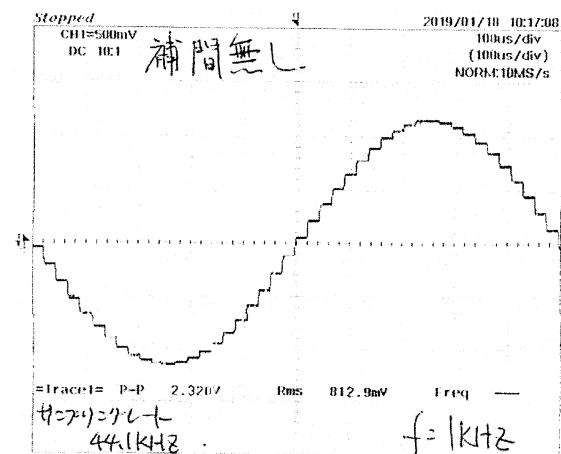


$D=0.0145\%$

1次（直線）補間でも波形はなめらかだが、  
補間無しはジャギーが発生している



$D=0.0668\%$



$D=3.19\%$

## SSDAC 現状での問題点

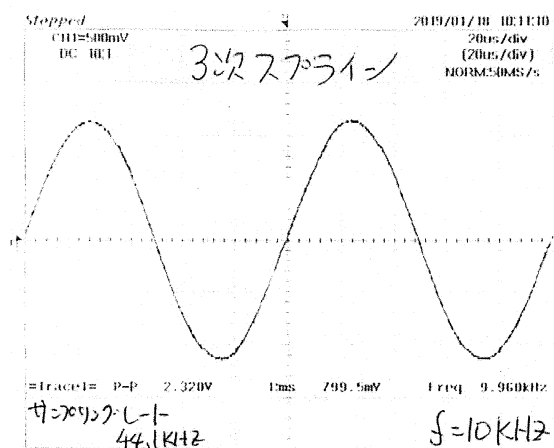
1. 2次スプラインが動作していない？
2. Sampling Frequency インジケータが動作しない。
  - ・ 接続するPCによって、44KHzや48KHzが点灯する。
  - ・ 入力された信号のサンプリング周波数を反映しない。

これらの問題は基板単体での動作を確認していないので、ケースに入れたことにより発生している可能性も考えられる。

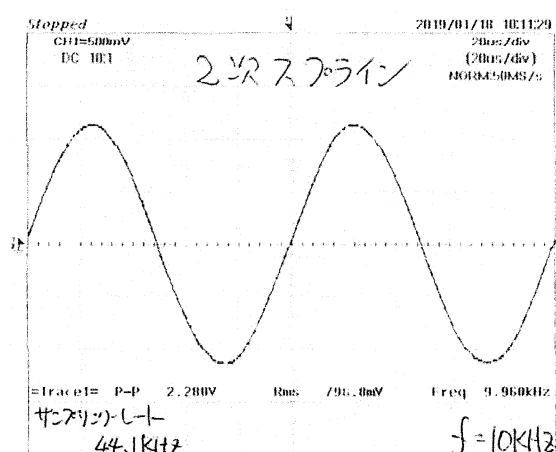
# SSDAC 補間特性と波形の関係

$f=10\text{KHz}$

3次スプラインと2次スプラインは同一

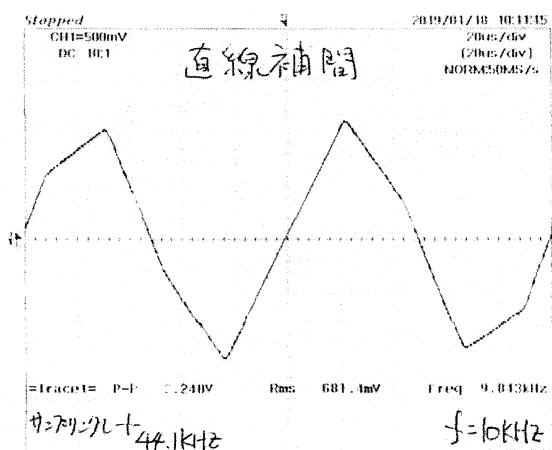


$D=0.74\%$

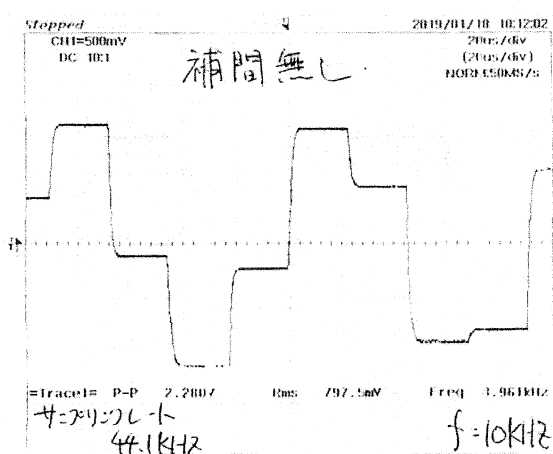


$D=0.74\%$

1次（直線）補間と補間無しは明確な差が出る

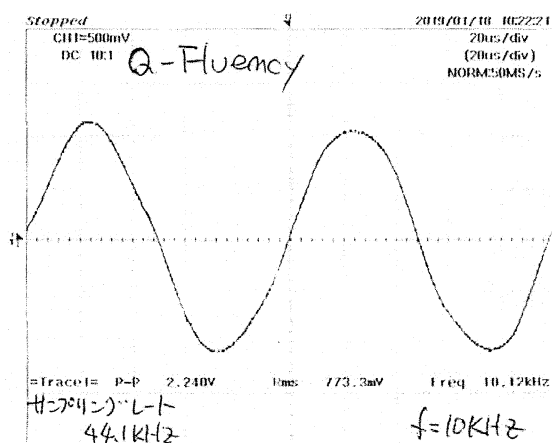


$D=8.96\%$



$D=18.9\%$

フルエンシーは波形の歪が目立つ



$D=4.73\%$